

日本ボーイスカウト大阪連盟 豊中地区広報

とよなか

第 89 号

平成 25 年 5 月 20 日

発 行

日本ボーイスカウト大阪連盟
豊中地区

知らせる！ 見せる！ 理解してもらう！

豊中地区 地区委員長

前田 栄子

平成25年の大阪連盟16地区の加盟登録数が 10,283 名その内 豊中地区が 963 名(4月現在)でした。今年度より登録業務がPC化され、それに伴う説明会もあり、各団総務委員会の皆様には、本当にご苦労をお掛けしたと思います。登録数の減数にはなかなか歯止めがかけられず、今年度も登録時点で 963 名(1月末が 1,020 名であったのが)と、大幅な減でありました。

4月14日に開催いたしました団委員長会においては、各団委員長の方々からもご意見を頂き、スカウト数の増加・指導者の育成・団の活性化等について、今後も地区の課題として、取り組んでいかなければならないと思っております。

さらに、共に「スカウト運動の益々の発展のため」、スカウト運動を「知らせる」・「見せる」・「理解してもらう」活動の推進に努力していきたいと思っています。



カブラリーで副分署長に扮した地区委員長

地区として、

- ・今年も、合同隊プログラム・合同行事を積極的に推進する。
- ・平成 26 年度の登録数を、1,000 名を超えるように推進する。
- ・団を活性化し、標準隊を目指す具体的活動をすべての隊が行えるように推進する。

この3点を中心に、団支援機能を充実させていきたいと思っています。

これからも皆様と手を携えて、より良いスカウティングを目指して頑張っていきたいと思いますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いします。

地区の主な活動（平成 24 年 12 月～平成 25 年 4 月）

●「スカウトの目を見た良い環境・悪い環境写真展」 平成 24 年 12 月 7 日(金)～8 日(土) 豊島体育館

友野環境委員長

今年も「とよなか市民環境展 2012」において、「スカウトの目を見た良い環境、悪い環境」の写真展示を行ないました。
9 ヶ団、14 隊、67 名から 139 枚の応募があり、下記の通り表彰されました。

最優秀賞 22 団 CS 隊 2 組 和田ひかるさん



撮影場所: 体育館前 撮影日: 2012 年 10 月 21 日

感想及びコメント: はなやみとトリがあるのがいいと
思った。緑のカーテンがあるとすずしくなるから
いいかんさうになる。

豊中第 22 団 カブ 隊 2 班[組]

個人名・代表者名: 和田 ひかる



カブラリーで地区委員長から表彰される和田さん

「良い環境」優秀賞 18 団 BS 隊オオカミ班 松井怜央君 「悪い環境」優秀賞 17 団 BS 隊コンドル班 大塚 悠君



撮影場所: 豊丘小学校 撮影日: 1/6

感想及びコメント: 雨水でものみずでも資源に利用すればいいかんさう
だと思います。

豊中第 18 団 ボーイ 隊 オオカミ 班[組]

個人名・代表者名: 松井 怜央



松井君



大塚君



撮影場所: 六甲山・雨ヶ峰 撮影日: 2012/11/8

感想及びコメント: 「悪い環境」
六甲山では、多くの人がハイキングをするため
山奥に生えている動物が出てくるように
なりました。

豊中第 17 団 BS 隊 コンドル 班[組]

個人名・代表者名: 大塚 悠

●ユニセフ募金活動 平成 24 年 12 月 23 日(日) 千里中央駅周辺

亀井広報委員

今年も豊中第 20 団が千里中央駅周辺で行ないました。大阪ユニセフ協会からの連絡によると、募金額は、150,784円だったそうです。かなり集まりました。

大阪府下では、12/16、12/18、12/23 の3日間、22か所で行われました。募金総額は、1,435,161円です。各隊隊長は、スカウトの頑張りに対して褒めてあげてほしいと思います。



●新年祝賀会 平成 25 年 1 月 20 日(日) ローズ文化ホール

高矢副コミッショナー

平成 25 年初めの地区行事【新年祝賀会】が 1 月 20 日ローズ文化ホールで開催されました。豊中市長はじめ、豊中市関係各位、大阪連盟理事長・担当コミッショナー、ガールスカウトの皆さまのご臨席を賜り、豊中地区の団関係者 160 名が一斉に集い、新年の挨拶を交わしました。

第一部セレモニーでは、浅利市長へ花木協議会長よりネッカチーフの贈呈が行われ、浅利市長は早速、チーフを巻いて新年のご挨拶をいただきました。

第二部懇親会では、担当団(21・22 団)によるお食事と趣向を凝らしたビンゴ大会にて盛り上がり、一年の始まりにふさわしく盛会に終わりました。



●第 32 回大阪国際女子マラソン奉仕 平成 25 年 1 月 27 日(日)

真嶋行事委員長

大阪連盟ではVS・RS・指導者合わせて257人が奉仕し、無事に終了しました。

豊中地区では、下記のスカウト16名、指導者9名、合計25名が奉仕しました。

スカウト： 阿部裕樹(3)、橋本直樹・植田優父太(5)、津嶋武(6)、関野昂ハ(7)

森香菜子・坂田成実(12)、常田陽介(14)、本地達也(17)、末廣昂佑(20)

渋谷京平(21)、小松大輝・西川綾乃・高井華緒・奥田幸治・住友昂志(22)

指導者： 浜嶋鉦一郎・谷岡信良・下村孝幸(2)、高木尚子(3)、真嶋建志(4)

澤田剛志(17)、西河市郎(21)、澤恭子・森脇康夫(22)

参加スカウトの感想

大阪女子マラソンの奉仕に参加して…

豊中第22団 VS 隊 小松 大輝

僕が、今回ボランティアとして参加したのは、大阪国際女子マラソンです。沿道整備のボランティアでした。沿道整備の仕事と聞いて、最初は「立っているだけか」と適当な気持ちで参加しました。でも、いざ参加してみて、たくさんの人が一生懸命走っている姿を見て僕はすごく元気が出ました。みんなから見たらただの沿道整備かもしれませんが、やってみたらまた違う見え方がします。それがボランティアの良いところだと僕は思います。またボランティアをする機会があれば是非参加したいと思いますし、皆さんにも機会があれば是非参加してほしいと思います。

豊中第5団 VS 隊 橋本 直樹

ぼくは、大阪国際女子マラソンの奉仕に参加しました。朝、長居公園・陸上競技場に集合しました。この奉仕は、沿道に立ち一般の通行人の方々の整理、誘導などしました。午前中は、ファミリー対象のマラソンがあり、警備しました。ファミリーのマラソンはいろんな格好し、きぐるみなどを着て走っている人がいるので見てて楽しかったです。午後はフルマラソンとハーフマラソンでした。この奉仕に参加する理由としては奉仕がメインなんですが大阪連盟規模なのでジャンボリーメンバーやレインボーキャンプで知り合った友達と会えるのが楽しみで僕は参加しています。何人かに会えたのでよかったです。

豊中第5団 VS 隊 植田 優父太

僕はボーイ隊、ベンチャー隊、そもそもボーイスカウトでの奉仕の経験はあまりありませんでした。今回の大阪府長居公園でのマラソン大会の奉仕内容としては走行者の沿道脇の警備でした。あまり興味はなかった、ボーイスカウトとして奉仕の精神をその場で発揮しようと自分の中で思いましたが、「ただ単に立っているだけなのにとのよう、奉仕の精神を発揮したら良いのかな」今一つわからず、考えれば考えるほど頭の中がいっぱいいっぱいになりました。幾つか自分の中で挙げてみました。今までの、ボーイスカウト活動で自分は何を得たのか、何をしようとしてきたのか…など率直に考えれば、人の役に立つことや、他人を思う心や、人の為に何かをする気持ちを培うためだと気がつきました。今思うとどれも人のために…や 他人のことを…など、他人(ひと)のことに意識や重点をおいた考えを基に行動し活動を続けてきたのだということです。その沿道に立ち他人を見つめることが一つ一つの他人(ひと)の為に何かをするということで、イコール走る人の安全を考えて警備をするという奉仕の精神だと実感しました。競技中のアクシデントや事故トラブル等がなくて本当に良かったです。奉仕活動というのは他人のことを思いやる事が出来る人なら誰にでも出来るものだと思います。なので、是非次回も機会があれば挑戦したいです。



参加スカウトの感想

豊中第 17 団 VS 隊 本池 達也

選抜高校野球の奉仕活動はボーイスカウトの中でも選ばれた人しか参加できないものなので、自分が選ばれたと聞かされたときは正直驚きました。練習が始まり、緊張感のある中でみんなが一つになって成功させようとしている時間は、とても意味のあるものだったと思います。私はメインスタンドを担当したのですが、他の担当場所と違い一人一人が違った動きをするので、綺麗に揃えるのに苦労しました。始まる直前まで微調節を続けながら不安だらけで本番にのぞみました。しかし、大きなミスもなく無事開会式が始まり、皆の顔が自然と笑顔になっていたことは今でもよく覚えています。この経験はボーイスカウトでしか味わえないと思うので、本当に参加してよかったと思っています。これからもこの経験を活かして頑張っていきたいと思っています。



左から 2 人目、優勝杯を持っているのが本池君

豊中第 14 団 VS 隊 常田 陽介

第 85 回選抜高等学校野球大会の奉仕に参加しました。

僕は小学校からサッカーをしていて甲子園は僕にとって聖地ではなかったが、同じ高校生の球児の憧れの地に奉仕というかたちで参加出来たことはとてもいい経験になりました。

軽い気持ちで参加したのですが、練習日から行進や集団行動の練習があり、この時は少し後悔したが開会式リハーサルの時甲子園に行き、選手たちの緊張感が伝わってきました。

当日はなぜか僕も何とも言えない気持ちと緊張感が出てきました。本当に感動しました。その時、僕も球児たちに負けないように努力して夢をかなえることが出来たらいいなと思いました。練習は大変でしたが、この奉仕をして貴重な体験が出来てよかったです。



左の準優勝旗を持っているのが常田君

国際委員長 植村 美代子

今回は豊中地区から2名のベンチャースカウトが選抜され、参加しました。現地では、観光では決して入る事ができない施設の見学や、現地スカウトとの交流など、様々な体験や多くのプログラムに挑戦し、無事に帰国しました。第9回ハワイレインボーキャンプも開催する予定です。ぜひチャレンジして下さい。

第7回ハワイレインボーキャンプに参加して

豊中第3団 VS 隊 武田 昌憲

僕は、今回のハワイレインボーキャンプを通して制服に対する考えが改まりました。今までは動きづらいし、正直面倒なものとおもっていました。しかし、今回のキャンプで制服を着ているということに楽しみを見いだすことができました。何故なら現地の人々がとてもフレンドリーに話し掛けてきてくれたのです。「自分の子供がボーイスカウトをやっているよ」「自分もリーダーをやっているよ」等です。またすれ違った際に「頑張ってるね」とも言われました。僕は日本と海外ではボーイスカウトに対する知名度が全然違うんだなと思いました。

これからは、制服に誇りをもって着ることで、それを見た人々が自分もやってみたいと思われるように着たいです。本当に楽しかったです。



豊中第18団 VS 隊 信田

今回のハワイレインボーキャンプで私は戦争と平和をテーマにプロジェクトを展開しました。真珠湾にてアリゾナメモリアル、戦艦ミズーリ記念館、太平洋航空博物館パールハーバーを訪問し、第二次世界大戦やその他戦争のアメリカ視点の資料収集を行いました。

まず始めにアリゾナメモリアル。アリゾナとは戦艦の名前でアリゾナは日本の真珠湾攻撃の際に最も大きな被害を受けた戦艦で今も当時のまま保存されています。ここでまずアメリカ視点の全編英語の映画を見ました。いろいろ言いたいことがある映画でした。あくまでアメリカ視点ですから仕方がないです。映画を見た後は船に乗ってアリゾナが眠っている場所へ向かいました。移動する途中には輸送艦や駆逐艦が見え、さすが軍港だなと思いました。アリゾナは本当に当時のままのようでした。船体は破壊され赤くさび、巨大な鉄クズのようにも見えました。海に沈んでから70年近くたった今でもその船体からは生々しく重油が染み出しています。



戦艦アリゾナ 現在も染み出る重油

次にミズーリ記念館へ向かいました。戦艦ミズーリは映画「バトルシップ」に出演していたのでご存知の方も多いかと思います。この戦艦は全長が270mあるのでとにかくでかいです。主砲は40.6cmと想像できない大きさです。その巨大な主砲を目の前で見たときはとにかく感動していました。たぶん。この戦艦では太平洋戦争の降伏文章調印式が行われこの戦艦の上で太平洋戦争は終結しました。調印式が行われた場所には記念プレートが埋め込まれています。太平洋戦争が始まった真珠湾。戦争が終わったミズーリ。歴史的価値の高い場所にいるのだという興奮と、奇妙な緊張感がこのときありました。他にもこの艦には神風特別攻撃隊の爆装零戦が突入した跡もあり、非常に価値のあるものを見ることができました。実はこのとき映画「バトルシップ」に出演していた方に館内を案内してもらっていました。日本語ベラベラで親しみやすい方でした。本来は入れない特別な場所にも入れて頂きました。



戦艦ミズーリ射撃指令所にて

次は航空博物館ですね。ここはその名の通り、航空機を展示してあります。その中には世界にたった5機しか残っていない本物のゼロ戦もありました。その周りには日本を初めて爆撃したドゥーリットル爆撃隊仕様のB-25など大戦中に活躍した戦闘機や爆撃機などが展示されていました。文字や写真では見たことがあっても本物を見るとやっぱりテンション上がりますね。

別の格納庫に行くと旧ソ連のMiG-15やF-15、フライングタイガース仕様のP-40もあったりでさらにテンションは上がる。この時も職員の方に案内していただきました。彼は日本兵の衣装を着て立っているアルバイトをしていて名前は「シンイチ」というそうです。彼は日本人とドイツ人のハーフで英語、日本語、ドイツ語が話せるみたいです。おじいさんが大戦中それぞれ日本兵、ドイツ兵だったそうです。実は彼もボーイスカウトをやっていて元イーグルスカウトだったそうです。私たちの制服を見た途端、職務を放棄して気さくに話しかけてくれました。



太平洋航空博物館パールハーバーにて 右端が信田君

そんな感じでかなりすごい人たちに会い本来の目的を忘れてかなりはしゃいでいたのではないかと思います。もちろん他にもたくさんの活動を行いました。言い出すと止まりませんよ。それぐらいです。ですがどの活動でも共通して言えることが1つあります。それは「制服」の力はすごいということです。日本で制服を着て歩いても特に何もないどころか軽蔑されることもあります。アメリカではそんなことはありません。アメリカではボーイスカウトが日本より理解されているのでどんな人でも気さくに話しかけてくれました。時には元スカウトから。ときには工事のおじさんから。元スカウトの人にはかなり話しかけられましたよ。シンイチみたいに元イーグルスカウトの方とも数えきれないぐらい出会いました。また制服を着ていることで特別なもてなしをしていただいたりもしました。ミズーリ記念館では本来は入れない場所に入れてもらったり、航空博物館では戦闘機に触らせてくれました。他にも料金を割り引きしてくれたり…。私はいままでこんなにボーイスカウトをしていて良かったと思ったことはありませんでした。同じメンバーで同じ活動を私服でしていたらこんないい思いはできなかったでしょう。おまけに今回はキャンプですよ。ハワイまで行ってキャンプするなんてボーイスカウトじゃないとできませんよ。

今回のキャンプはボーイスカウトとして行くことでいろんな貴重な体験をすることができました。海外なんて物騒なだけ、怖いと思っていた自分が馬鹿馬鹿しくなるほどに。一生の思い出になる最高の活動でした。

広報委員長 妹尾 孝樹

『わ！緊急指令「ボジョレーレスキュー隊 出動！」』というテーマで開催、レスキュー隊員になるための訓練をしました。豊中地区からはスカウト 147 名、リーダー 77 名、その他 21 名、合計 245 名が参加しました。豊中地区はエルブリング分署を担当しました。

また、この後、カブ部門のアジェンダの日の活動として、環境についてのスローガンを「アルプス一万尺」の替え歌にするというコンテストを行ない、2 団が最優秀賞、8 団が優秀賞、22 団がパフォーマンス賞に輝きました。その模様は 유튜브 に限定公開していますので、ご覧になりたい方は各隊カブ隊長、または私までご連絡ください。



カブラリーテーマソングの佳作表彰を受ける 14 団



最優秀賞に輝いた 2 団の歌詞

夏はうちわで	冬は湯たんぽ	エアコンなくても	へっちゃらだ
みんなで守ろう	きれいな自然	みんなで守ろう	この地球



18 団小橋隊長の力作



14 団がいただいたカブラリーテーマソング佳作の記念品

スカウトの進歩

富士章取得状況 (平成24年12月～25年3月まで) (順不同)

常田 大喜	豊中 14	秦 彩乃	豊中 3
-------	-------	------	------

菊スカウト章取得状況 (平成24年12月～25年3月まで) (順不同)

川辺 隆彰	豊中 2	大嶋 英生	豊中 4
和泉 龍	豊中 17	細川 大我	豊中 4

宗教章取得状況 (平成24年4月～25年3月まで) (順不同)

キリスト教章(日本カトリック教会)

信田 圭佑	豊中 18	北野 可子	豊中 12
北野 有人	豊中 12	森 香菜子	豊中 12
西川 尚吾	豊中 22	津嶋 武	豊中 6
中津 せりな	豊中 20	中西 正和	豊中 20
末廣 昂佑	豊中 20		

技能章取得状況 (平成24年12月～25年3月まで) (順不同)

1.野営章

下村 亮太	豊中 2	常田 大喜	豊中 14
竹本 了介	豊中 5	坂田 成美	豊中 12

3.救急章

木村 友歌子	豊中 4	中内 辰之介	豊中 16
和田 みちる	豊中 22		

5.水泳章

橋本 直樹	豊中 5
-------	------

36.消防章

関野 昂八	豊中 7
-------	------

56.わら工章

坊農 俊浩	豊中 16
-------	-------

富士章スカウトとして

豊中第3団 秦 彩乃

今回富士章を取得したことは、今までのスカウト人生を振り返るよい機会になったと感じています。私は小学校2年生の時に友人に誘われたのがきっかけで、カブスカウト隊に入隊しました。それ以来、自団の仲間とともにさまざまな活動を通してどんどんボーイスカウトの魅力に取りつかれていきました。初めてボーイスカウトに魅力を感じたのは、カブスカウトの地区キャンポリーの時です。それまでの3団での活動も、深く心に残る印象深いものばかりだったのですが、他団と交流するというのはそのときが初めてでした。3泊4日の舎営の中で、他団との交流がとても楽しく、野外活動を通じて競ったり、高めあったりすることに大変感銘を受けました。夜は宿舎のグラウンドにブルーシートを敷いて流星群の観察をしました。そこで生まれて初めて流れ星を見たことは今でもはっきりと覚えています。

そして、ボーイ隊、ベンチャー隊へと上進するにつれ、活動はより実践的になっていきました。ボーイスカウトは、私に新しい経験と社会に貢献する機会を沢山与えてくれました。

それでも、ボーイスカウトを辞めようかと気迷いしたことも何度かあります。カブ隊のときには大勢いた女の子が一緒に辞めてしまったり、中学校に入って部活動が忙しく、活動への参加が困難になったりしたからです。しかし、団の関係者の皆さんの温かいサポートがあり、ボーイスカウトの魅力がやはり心残りで、今日まで続けてきました。私の団には優秀な先輩が沢山おり、富士章を取得した方も数人います。それは私自身が富士を目指すきっかけにもなりました。

ジャンボリーや海外派遣、フォーラム、震災のボランティアなどを通じて、地区だけではなく、全国、世界に私の中でのボーイスカウトの輪が広がりました。また、人と人とのつながりや、野外活動に適応するスキルの向上に加え、物事を客観的に見る力や事前に準備して事に備える行動力が、スカウト活動を通じて自然に身についたと感じます。また、大学生になった今、スカウト経験を将来に生かしたいと考えるようにもなりました。これからは、自分が今まで経験してきたこと、ボーイスカウトの素晴らしさを精一杯、後輩スカウトに伝えていきたいです。スカウト活動はなにより、楽しくやるのが一番だと思います。だから後輩スカウトが何事も楽しく経験を積めるような指導者になりたいと思います。

富士章はスカウト人生におけるゴールではなく通過点です。私自身、まだまだ未熟な部分が沢山あるので、これからの活動を通じて自分自身も向上させていきたいと思います。スカウト関係者の皆さんや家族への感謝の気持ちを忘れず、活動に励んでいきたいです。

最後に、私の人生に大きく影響を与えてくれた「ボーイスカウト」に感謝します。



3団富士章伝達式後の記念撮影（中央）



カブ隊の副長補としても活動中（右端）

富士章取得とこれからの抱負

豊中第14団 VS 隊 常田 大喜

三指

私が富士章を取得したかった一番の理由は、日本連盟で最高峰の章に挑戦したかったということが一番にあります。私が取得することで後輩が後に続いてくれるのではないかと期待がありました。当団は8年前の外池達宏富士スカウト以来、富士スカウトを輩出していませんでした。その為、恐らく、当団ボーイ隊、そしてカブ隊に現在所属しているスカウトは富士章というものを知りませんでしたし、当団で富士章取得を目にしている最年少スカウトは私でした。今回、私の富士章取得を後輩に見せることができ、当団富士スカウト第5,6…号と後輩が続いてくれることを期待、そして取得できるように指導していきたいと思います。

さて、富士章の看板課程であるプロジェクトアワードは登山一色です。「7DAYS 南アルプス大縦走」に始まり、「北アルプス白馬連峰で見られる高山植物」、「スノーシューで雪山をかけぬけよう in 比良山系」といったプロジェクトアワードです。全て話したいのは山々ですが、話すとき長くなりますので、3つ目のプロジェクトアワードのみを簡単に紹介したいと思います。当団ベンチャー隊とローバー隊、時にはボーイ隊を含めて、冬の季節に滋賀県比良山系の日帰り登山をすることが恒例行事となっています。そこでスノーシューという西洋のかんじきを装着して登山をしています。毎年、複数回実施しており、それをまとめあげたものが当プロジェクトアワードです。この活動は当隊の看板行事であり、誇りにしているものです。その他のプロジェクトアワード及び詳細は、当団ホームページ[「いちよん」](#)にてアップされておりますので、興味のある方は一読していただくと幸いです。

今春より大学進学により仙台で生活しています。未だに海岸線に赴くと東日本大震災の傷跡を深く残しています。私自身ができることは大変微力ですが、復興関連のボランティアへの参加し、そして、そこで感じたことを地元大阪に伝えることにあると考えています。大阪に今の東北の現状を伝えることが、一個人がボランティアに参加してなし得ることよりも大きなことだと考えているからです。最後になりましたが、豊中地区をはじめとした多くの方々のご指導、ご支援の結果、晴れて富士スカウトになれましたことをこの文面を借りて御礼申し上げたいと思います。



14 団富士章伝達式後の記念撮影 中央が常田君

第 5 回 国際活動セミナーに豊中地区から2名が報告者として参加しました！

国際委員長 植村 美代子

日時:3月17日(日) 10 時～14 時 30 分

場所:大阪スカウト会館国際委員長



報告する5 団の野村さん(左)と12 団の坂田さん(右)

豊中第5 団RS隊の野村一樹さんと豊中第12 団の坂田成実さんが報告しました。

平成23年度ウガンダ連盟との UN-HABITAT プロジェクト派遣 報告

@大阪連盟国際活動セミナー

豊中第5 団 RS 隊 野村一樹

日時:平成24年3月3日(土)～3月14日(水)

活動地域:・ケニア共和国(ナイロビ)

・ウガンダ共和国(カンパラ、グル、アルア)

活動内容:UN-HABITAT(国際連合人間居住計画)本部訪問

ボーイスカウトアフリカ地域事務局, ケニア連盟,

ウガンダ連盟訪問

ナイロビ国立公園見学

ワンストップセンター, カルチャーセンター, 戦争孤児院, グル高校訪問

アルア市市長教育長訪問

現地清掃活動, 文化交流会(キャンプファイヤー含む)



今回で第4回目となる今派遣に参加し, ケニア, ウガンダで活動を行いました. 現地では予想以上の日本とのギャップに驚きながらも, トラブルも含めてそれを楽しめるとポジティブに捉えることができ, とても貴重な経験になりました. 何よりも今まさに経済発展をしている国の勢いというものに圧倒されました.

ボーイスカウトだとわかると, とても気軽に声をかけてられ, 現地の方と話すきっかけになったのでボーイスカウトとして両国に行けたことはとても大きな意味を持ちました. 現地では日本人としての質問を受けることが多くありました. 日本の支援の感謝など改めて日本人で良かったという誇りを感じると同時に, 「どうして敗戦国の日本は世界トップクラスの経済大国へと成長したの? どうしたら僕達もなれるの?」など私には英語で説明できないことも多く, 自分の知らないことの多さや, “日本人とは何か”を考えさせられました.

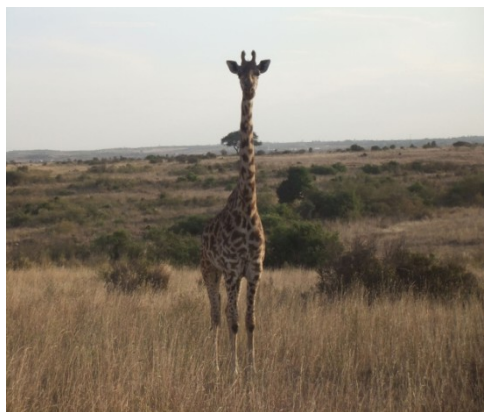
現地スカウトと一緒に清掃活動や、環境についてのディスカッション、キャンプファイヤーなど近い距離で彼らの文化に触れたことはスカウトならではの活動を行えたことも良かったです。彼らは近くの子供をすぐに巻き込んで活動していたので日本とは違った「オープンな活動」という印象を受けましたので、活動を充実させるためにも私達も見習うべきところは多いと感じました。



清掃活動では沢山のスカウトと一緒にゴミ拾いを行いました。そこにあるのに

拾わなかったり、諦めたりとやはり日本人は気配りや繊細さに優れた真面目な国民性なのだと感じました。

一方で彼らの集会では歌やダンスが多く、リズム感などまさにTHE AFRICA!と言った感じでとても楽しく日本人にはなかなかできないものでした。



技術の発達で世界の距離が縮まり、アフリカの情報も簡単に得ることができる現代(アフリカでもソーラパネルが普及しており、携帯電話も多くの方が所持しています)ですが、やはり実際自分の目で見て感じることは大きく違いました。もちろん私達が見たものはごく一部でしかありませんが、発展した中心街とスラム街や田舎の伝統民族の地域などそこに住む人達の顔はいきいきしているように感じました。

どこまでも広い大地でとりあえずどこでも地平線が見えるような現地ではこれまでの人生で一番「生きてる！」と生命を実感した時間であり、エネルギーをもらいました。ここでは書けないことも含めてまだまだありますので興味があればどこかの機会でお話出来ればと思います。

この活動の話を聞いて少しでも遠いアフリカの国のことを身近に感じてもらえるようになれば十分だと思っています、そこからはそれぞれ違うアプローチだと思います。特に後輩スカウトには可能ならぜひ日本を飛び出して、改めて日本の素晴らしさを認識してほしいです。

残念ながら派遣は今回が最後となってしまう、後続がないのは悲しいことですが、このつながりを大事にこれからの活動に還元していきたいです。



○派遣報告 BLOG

<http://23unhabitatuganda.blog.fc2.com/>

今派遣の報告書のデータもありますので
ご一報下さい。



第 11 回韓日スカウトフォーラム及び第 13 回韓国ジャンボリー派遣報告

豊中第 12 団 坂田 成実

第 11 回韓日スカウトフォーラム

- ・行き先:韓国 ガンウォン州大学
- ・期間:2012 年 7 月 29 日～8 月 2 日
- ・内容:よりよき理解、明るい世界のテーマの元、森林に重点を置き、韓日スカウトで英語を用いてディスカッションを行ない、最後に全員で採択文を作成しました。



第13回韓国ジャンボリー

- ・行き先:韓国 ソラク山
- ・期間:2012 年 8 月 2 日～8 日
- ・内容:インターナショナルヴィレッジに所属し、様々な国と交流をしながら、プログラムに参加しました。



平成 24 年度日韓スカウトフォーラム

- 行き先:広島県
- 期間:2012 年 1 月 12 日～14 日
- 内容:よりよき理解、明るい世界のテーマの元、韓国スカウトとディスカッションを行ないました。
私の班では、平和な社会について議論しました。





ボーイスカウト豊中第3団

3rd TOYONAKA GROUP OSAKA SCOUT COUNCIL SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

.....ベンチャースカウト隊の巻.....

春の隊キャンプ便り

発電&ごみゼロキャンプへの挑戦！

今年度のテーマの一つ、「エネルギーを考える」への取り組みとして、2月の初旬から何度もミーティングと集会を繰り返し、『自家(水力)発電装置』を試作しました。早速3月30日(土)～31日(日)の隊キャンプで試験運転！しかし初谷川の流力はゆるやかで、なかなか我々の電力需要を満たしてはくれません…



更なる改良もしくは全面的な見直しで、次へ繋げていかなければ！
合わせて今回は達成出来なかったごみゼロについてもミーティングを重ね、確立していきたいと思います。
もう一つのテーマ「大災害について考える」も控えています。



富士章とりました
VS隊員 秦 彩乃



2日目はBVS隊の飯盒炊爨の奉仕もしました。
二十歳になりRS隊へ上進、指導者への道を歩み始めるスカウトも出てきました。
これからの3団VS隊にご期待ください！

Facebook はじめました
ボーイスカウト豊中第3団



豊中第4団活動報告

2月8～10日、長野県の黒姫高原にカブ、ボーイ、ベンチャーで冬期舎営に行ってきました。

ビーバー隊活動

9月に4名のスカウトで始まったビーバー隊も新隊長による活動の見直し、リーダーの努力、保護者の協力、ベンチャー隊の参加によって楽しい活動を行うことにより、スカウトがスカウトを呼んで4月には13名に増えました。今後も随時、体験者を募集しています。8月の舎営には何人で行けるかな。

2月3日芦屋ロックガーデン

6月16日には団炊事ハイクがあります。今年のメニューは***らしいですよ。楽しみです。

3月17日中山奥の院ハイク

豊中 1 2 団



時計づくり・駅前清掃・サイクリング・ハイキング・
滋賀と奈良プロジェクト。イースターの卵作り

いちよん冬の活動ダイジェスト

雪山訓練登山 in ハケ岳連峰

GW 本番に向け、今年は厳冬期に四国石鎚山、木曽駒ヶ岳、そしてハケ岳で雪山訓練登山を行いました。吹雪の中、阿弥陀岳と赤岳に登頂しました。



RS 隊 2013GW 雪山登山 & 幕営訓練 in 北アルプス穂高連峰

雪上 3 泊 4 日で穂高連峰の北穂高岳 (3106M)、涸沢岳 (3110M)、そして奥穂高岳 (3190M) に登頂しました。奥穂高岳 (写真) は凍った岩場と 50 度以上もある雪の急斜面が立ちはだかり、困難な登攀となりました。



ビーバー隊 2013 年 2 月 24 日 大阪プールアイススケートリンクにてスケート訓練を行いました。初めは手すりにつかまっていたいましたが、帰る頃にはスイスイと滑っていました。



カブ隊耐寒訓練 2013/2/9 楊梅滝にて



ボーイ隊耐寒ハイク 2013/2/3 ヤケオ山

ここで問題です。スカウトは何人入っているでしょう？」



豊中17団かわら版

【 2013年度 冬季プログラム紹介 】



冬はいつもみんなで一緒に活動するのが大好き！！（団スキー訓練：奥神鍋高原スキー場 2013/2/16-17）

＝ 活動報告 ＝

17 団では、毎年冬季プログラムとして、スキー訓練を実施しています。
今年（2013 年）は、奥神鍋スキー場に一同向かいました...

日時：2013 年 2 月 16 日（土）～17 日（日）
場所：奥神鍋スキー場

■行ってみれば、雪、雪、雪・・・

訓練先が関西近辺という事もあり、豊中では訓練前日から雨が降っており、あまり雪には期待していなかったのですが（下見時点ではベタベタの雪質）、道中バスの窓から見える光景は『一面の銀世界』に変わって行きました！！！！



■夜は、夜で、お楽しみ・・・

夜は、みんなで「すき焼き」を食べました。
ベンチャー隊は、カブ隊の食べ残りをきれ

いに完食しました（しばらく、牛丼はらない、と言っていたが・・・）。



■ドキドキのスキー検定

17 団では、独自にスキー検定を行っています。最初は 5 級からはじまり、スキー技術レベルに応じて、最高峰 1 級までの検定を行います。各スカウトは、進級を目指して毎年チャレンジしています。今年もたくさんの進級者が出ました。



これからも17団を見に来てね！！！！



Activity Report



TOYONAKA 22

怒羅えもんさんと七福神がやってきた！

今年は7人という事もあり、なんと、七福神がスカウト祭にやってきた。22 団伝統の BS 上進スカウトによる仮装行列。ちょっと恥ずかしいけど、スカウト保護者も全力協力。ありがたや、ありがたや

「あれ、もしかして主役取られた？」



司会：怒羅えもんさん



BVS 活動

スカウトの日の清掃奉仕



スカウトの日の清掃活動で、いぶきから服部駅前までを清掃しました。タバコがたくさん落ちていました。ポイ捨て多すぎ！

VS 隊スキー(ダイナランド・高鷲スノーパーク)

VS 隊は隊スキーでダイナランド・高鷲スノーパークへ！スノーボードがやりたいという要望でスタートした計画が、なぜか全員スキー？をすることに。ロングコースや Gondola も初体験。団スキーでは BS・CS に指導する VS スカウト達も、上級こぶコースでは、大クラッシュ！次への課題が見えるスキー訓練でした。



やってきましたスキー訓練！

例年成人の日に合わせて行っている岐阜県・ひるがの高原スキー場でのスキー訓練。今年は地区新年会の担当もあり、週をずらしての実施となりました。天気も良く、雪も沢山、アレ？人も沢山？いつもより多いぞ？リフト待ちが長くて大変。でもおしゃべりしていれば大丈夫！しっかり練習できたけど、ちょっと滑り足りなさそうだったかな。スキー場に別れを告げて、後は帰るだけ……最後に待っていました、大渋滞！1 時間たっても景色が変わってない……リーダーはぐったりだけど、スカウトは元気に遊んでいました。



BS ラリー優勝おめでとう！

4 月 28 日に開催された豊中地区 BS ラリーでタイガー班が優勝しました。事前にしっかりと班集会をしてから挑んだ成果が出ましたね。救急で満点を取って大満足！「全部回れなかったのがちょっと残念」(タイガー班一同)



22 団バザー



3 月 31 日保護者も総出で、団バザー！急に雨が降り出してきて VS・指導者は大慌てでフライを張ることに……張り終わったとたん雨が止みました。(´・ω・`) ショボーン

新入隊員歓迎ハイク・多田銀山



多田銀山へハイキングに行きました。ボランティアの方に案内していただきました。ここは唯一中に入れる廃鉱跡の前です

2013 年度コミッショナーチーム役務分担

役務	氏 名	担当部門・団	担当行事	担当委員会
コミッショナー	菅沼 宏之	全般	全般	全般
副コミッショナー	森田 次郎	BVS	8 月 ART	トレーニングチーム
	武田 祥子	CS	BP 祭	(会計・記録)
	間島 務	BS	8 月 ART	スカウト委員会
	高矢 恒	VS・RS	全指導者研究集会	行事委員会
団担当コミッショナー	澤 恭子	1・2・14	新年祝賀会	環境委員会
	原 眞仁	3・4・5・7	BP 祭	スカウトクラブ
	葛城 利彦	8・16・18	BP 祭	国際委員会
	瀧田 弘之	15・17・20	新年祝賀会	指導者委員会
	山本美代子	6・12・21・22	全指導者研究集会	総務委員会



左から3人目が新任の武田副コミッショナー

日本ボーイスカウト大阪連盟豊中地区

事務局 〒561-0858 豊中市服部西町4-13-1

豊中市立青年の家 いぶき 内

地区協議会長 花木 一夫 地区委員長 前田 栄子